高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

会社説明会

2019年 3月 2日

本日のスケジュール

13:30	開会のご挨拶
13:35	会社紹介プレゼンテーション
14:05	質疑応答
14:15	休憩
14:25	商品デモンストレーション
15:00	閉会

開会のご挨拶

会社紹介プレゼンテーション

本日お伝えしたいこと

1. **会社概要**
2. 事業の概要
3. システムセグメントについて
4. デバイスセグメントについて
5. 中期経営計画
6. 財務状況
7. 株主還元方針

1-1. 会社概要

（2018年3月期）

設立	1952年3月13日 （第67期）
決算期	3月
資本金	12億921万円
社長	井出 尊信
連結総資産	185億6,614万円
連結売上高	195億7,007万円
連結従業員数	494名
連結子会社数※	8社（国内2社、海外6社）

※ SPC（特定目的会社）2社除く

1-2. 社名の由来と企業理念

日本神話における天地『創造』の象徴・代名詞 「高千穂」

貿易を通じて、海外との文化交流にも貢献したい 「交易」

企業理念

技術商社として、『創造』を事業活動の原点に据え

1. テクノロジーをとおして、お客様のご満足を高めます。
2. 技能と人間性を磨き、世界に通用する信用を築きます。
3. 力を合わせて、豊かな未来を拓き、社会に貢献します。

1-3. 主な沿革

1952年	設立 米国バロース社（現ユニシス社） と日本総代理店契約し、電子計算機を販売開始
1963年	日本初OCR システムを販売開始
1970年	**日本初、商品監視（万引き防止）システム、スライドレールを販売開始**
1971年	**半導体、自動封入封緘システムを販売開始**
2000年	JASDAQ 上場 入退室管理システムを販売開始
2002年	（株）クボタから株式会社エスキューブを買収
2004年	東京証券取引所市場第2 部上場
2005年	東京証券取引所市場第1 部指定
2011年	Tyco Fire & Security Ltd. から Takachiho Fire,Security & Services(Thailand)Ltd. を買収
2012年	丸紅(株) からマイティカード株式会社を買収
2014年	United Technologies Corp. から Guardfire Ltd. 及び Guardfire Singapore Pte. Ltd. を買収
2015年	Takachiho America,Inc. を設立

1-4. 当社の特徴

「安全・安心・快適」を共通項として

① 提案からインテグレーション、納入・設置、保守メンテナンスまでを
一括して提供するBtoBの技術商社

② **エンジニア系社員が40%超**を占め、

高い技術力による商品開発や技術サポートで競合他社と差別化

③ 万引き防止システムや金融端末のスライドレールでは、
国内トップクラスの高シェア を誇る

④ **自己資本比率は10期連続で70%超**
の安定した財務体質

本日お伝えしたいこと

1. 会社概要
2. **事業の概要**
3. システムセグメントについて
4. デバイスセグメントについて
5. 中期経営計画
6. 財務状況
7. 株主還元方針

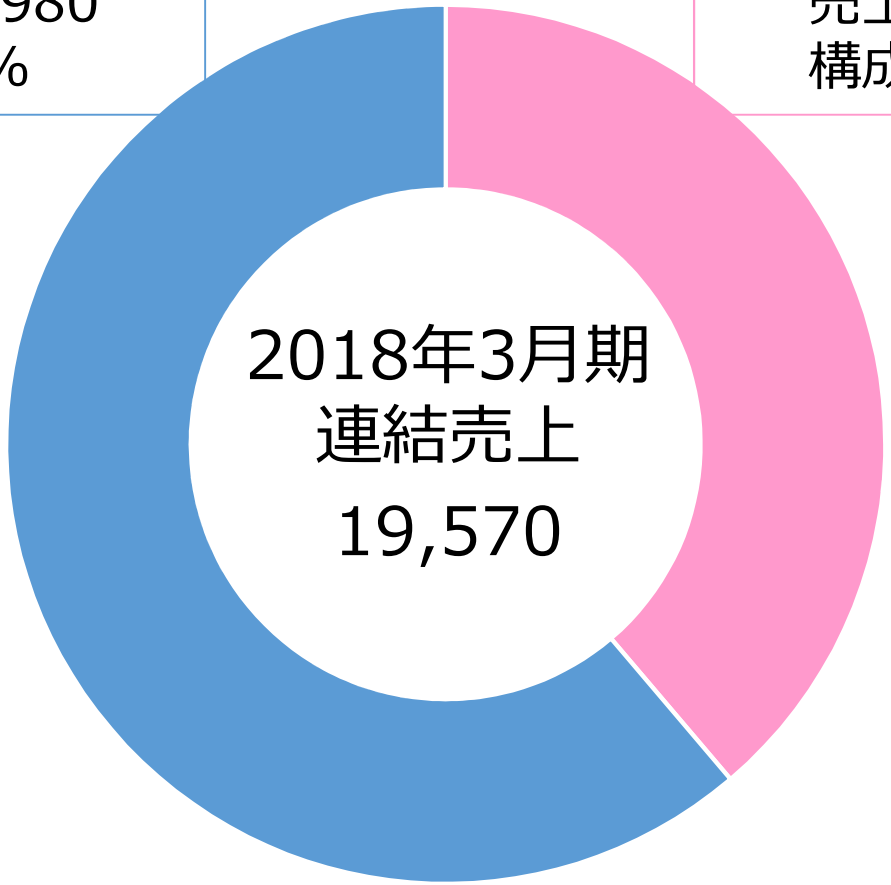
2-1. 商品セグメント・売上構成比

■システムセグメント

売上　11,980
構成比　61%

■デバイスセグメント

売上　7,589
構成比　39%

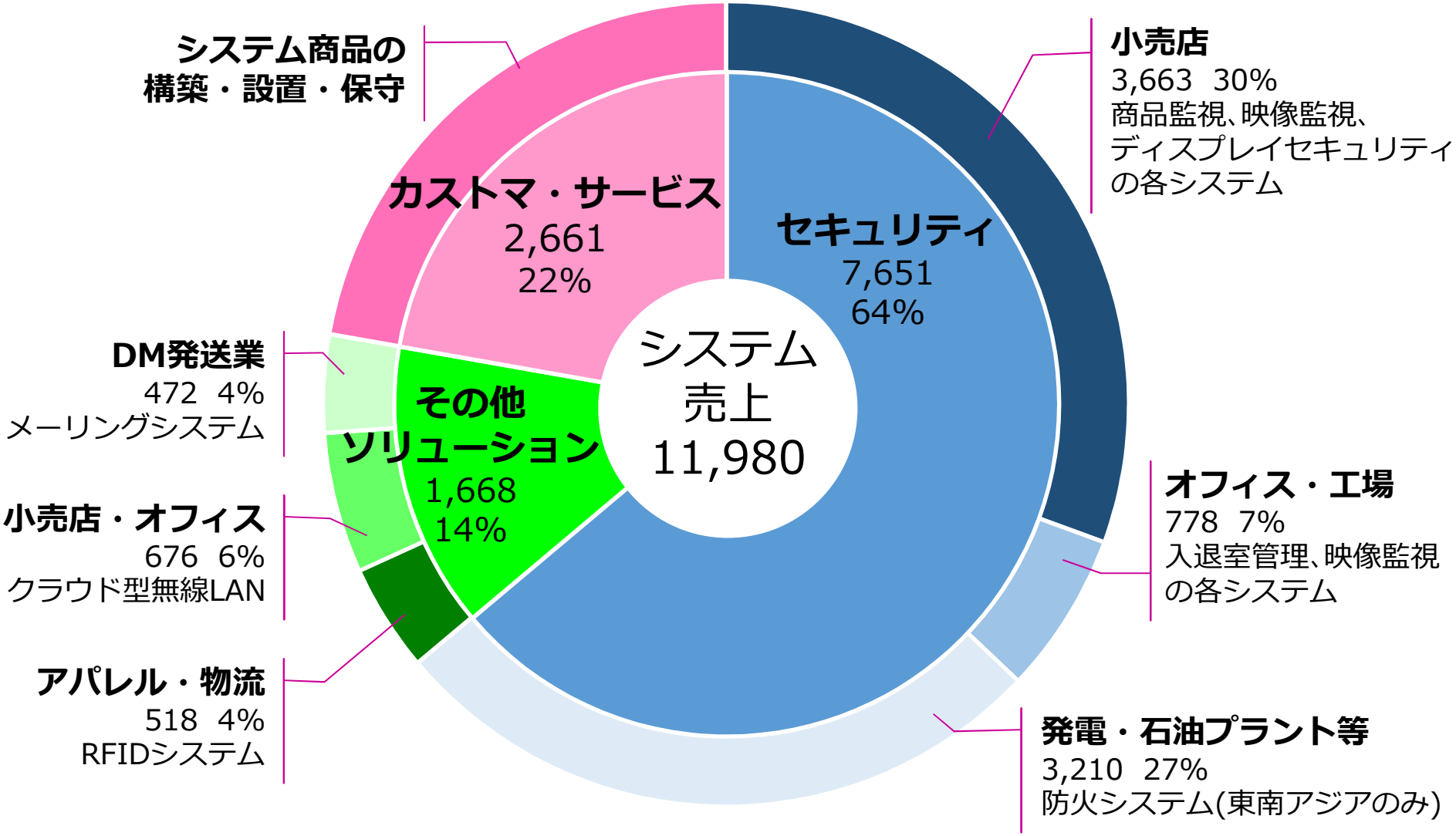


（単位：百万円）

本日お伝えしたいこと

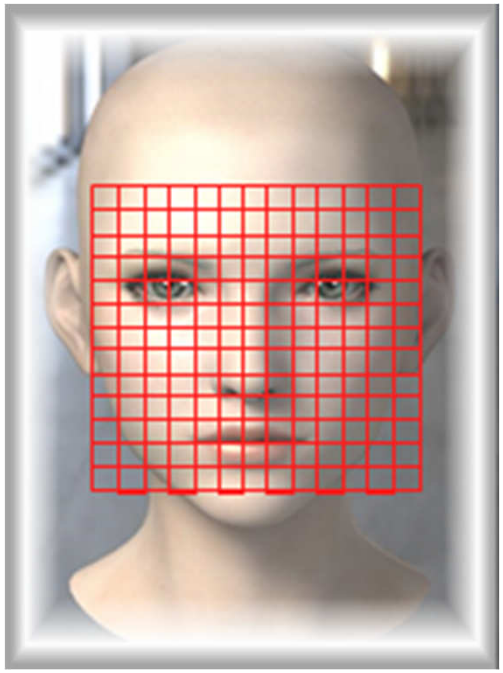
1. 会社概要
2. 事業の概要
3. **システムセグメントについて**
4. デバイスセグメントについて
5. 中期経営計画
6. 財務状況
7. 株主還元方針

3-1. プロダクト別売上・主要販売先・販売商品



（単位：百万円）

3-2. セキュリティプロダクト【小売店】



顔認証システム

映像監視
システム

小売業売上トップ50社に
おける当社導入実績

72%

（シェアトップクラス）

これまでに培ったノウハウに基づく
複合ソリューション提案が強み

商品監視（万引き防止）システム

ディスプレイセキュ
リティシステム

3-2. セキュリティプロダクト【オフィス・工場】

入退室
システム

映像システム

外資系企業 に強み

米国の大手セキュリティ機器メーカーの商品を取り扱っており、日本に進出する**外資系企業に本国と同じシステムを当社が構築**

<外資系企業の主な導入先>

- 監査法人
- 投資銀行
- 金融系企業
- 製薬会社
- IT企業
- コンサルティング企業

3-2. セキュリティプロダクト【働き方改革】

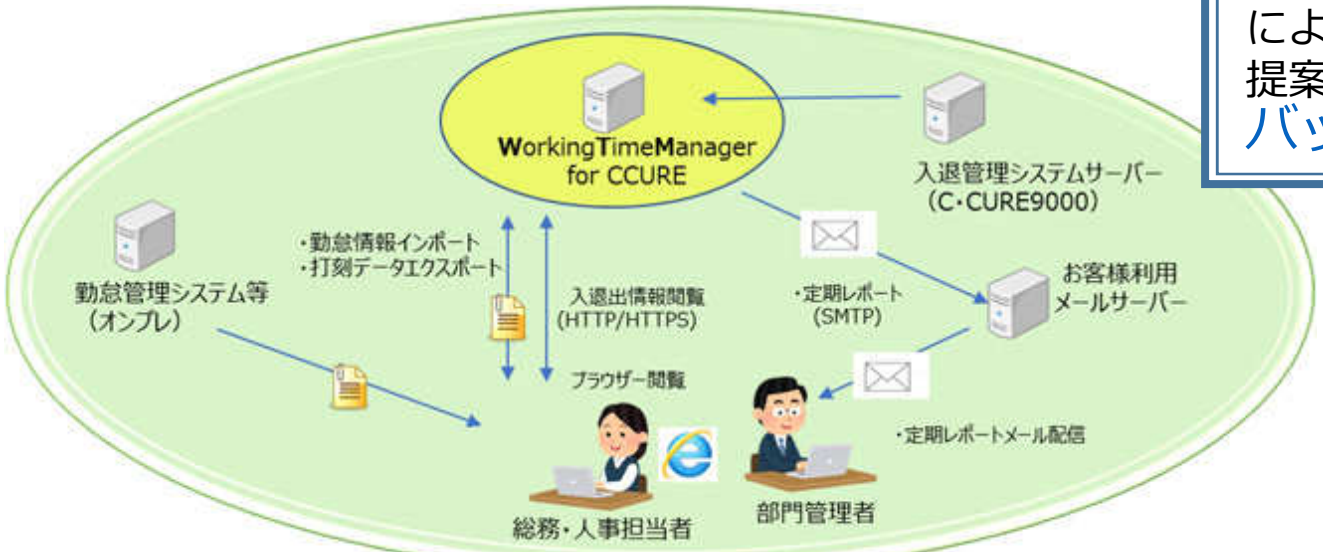
非接触ICカード

虹彩（こうさい）認証

フラッパーゲート

働き方改革は
●多様で柔軟な働き方の選択
●長時間労働の是正
が求められ、それには
正確な勤務時間の把握が必要
加えてセキュリティ対策が可能

入退室データと勤怠管理システムとの連動
により業務効率化の環境を提案し働き方改革推進をバックアップ

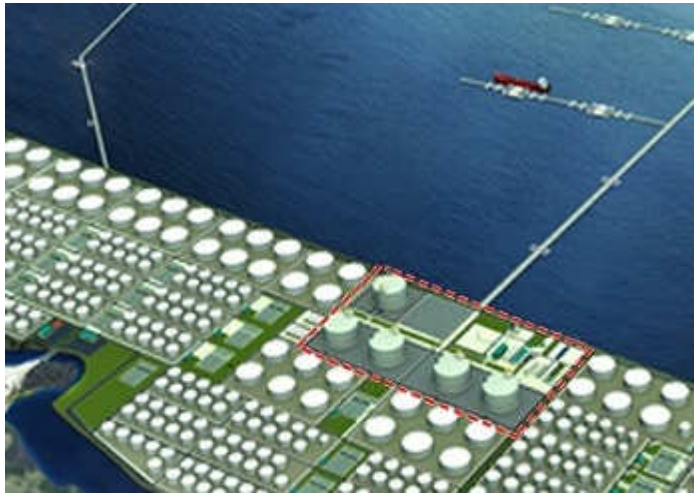


Working Time Maneger

3-2. セキュリティプロダクト【発電・石油プラント】

Guardfire

- **高度防火システムプロバイダー**として、最適なデザイン・機器供給を実施
- 東南アジア地域全域を対象
- **顧客は主に日系**・韓国系の大手プラント建設会社
- **NFPA**(米国防火協会規格)**遵守**が求められるプロジェクトで優位性を発揮

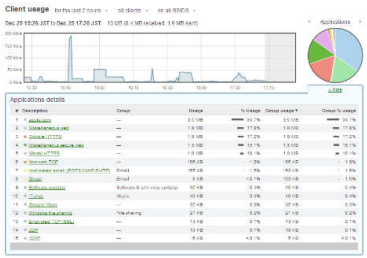


大型発電プラントにおける高度防火システムを新規受注

3-3. その他ソリューションプロダクト【CiscoMeraki】

なぜクラウドなのか
- 資産、保守管理が不要
- 届いたその場で利用可能
- 初期導入コストが安い
- 安定運用
- セキュリティ性が高い

cisco Meraki



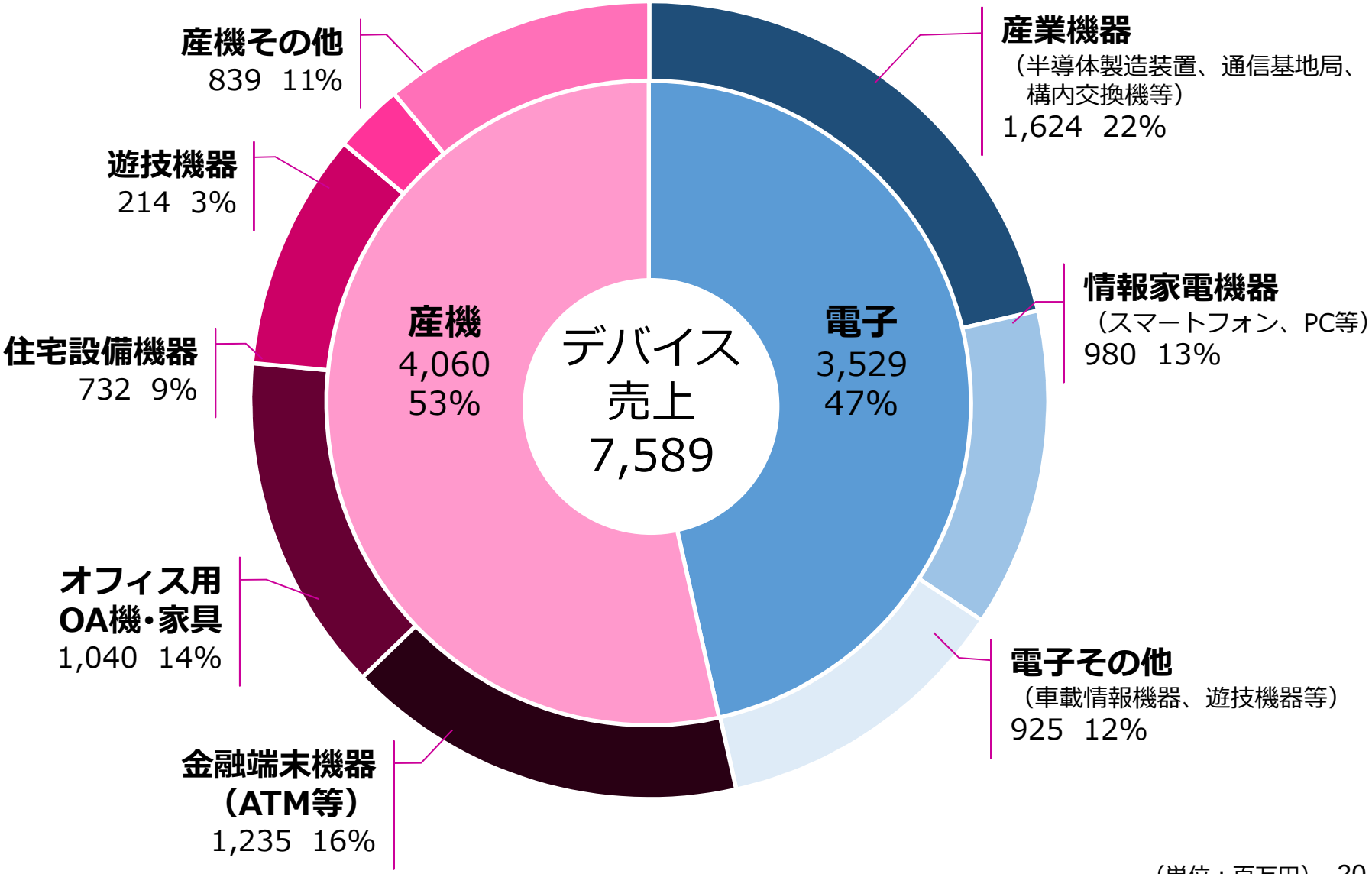
Cisco Merakiが選ばれる理由
- クラウドネットワーキング業界のリーダー
- 世界145か国、150,000社以上の導入実績
- 通信機器全般を包括したソリューション
- データ収集と情報分析

当社が選ばれる理由
- 企画・設計・システム構築から運用保守まで一貫したサービス
- 他社に先駆けて行った「MSPビジネス」（サブスクリプション型ビジネス）のノウハウ
  ⇒安定的な収益確保

本日お伝えしたいこと

1. 会社概要
2. 事業の概要
3. システムセグメントについて
4. **デバイスセグメントについて**
5. 中期経営計画
6. 財務状況
7. 株主還元方針

4-1. プロダクト別売上・主要販売先



（単位：百万円）

4-2. 電子プロダクト

Knowles

knowles
Life above the noise

Monolithic Power Systems

MPS

Diodes

DIODES

Solteam Opto

solteam opto

Quectel Wireless Solutions

QUECTEL
Wireless Module Expert

TUL Corporation

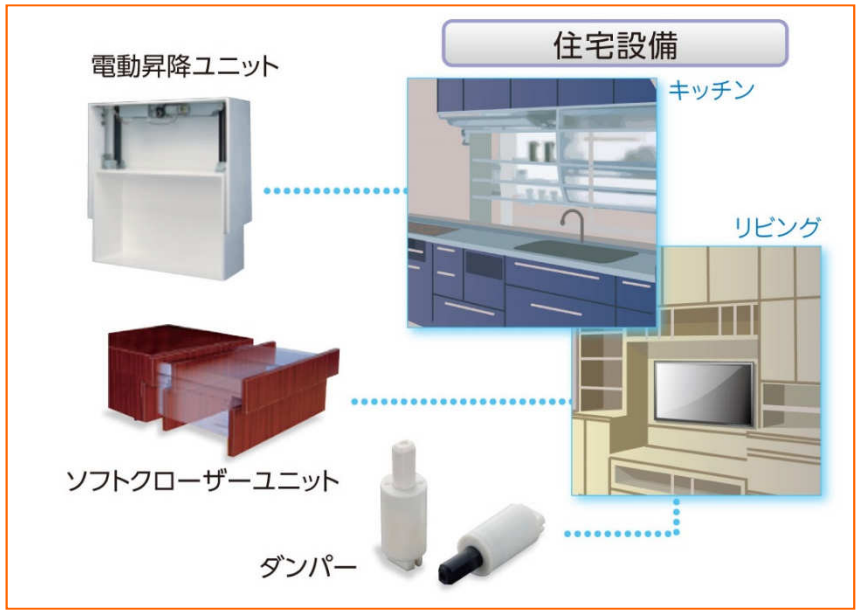
TUL

高性能化・小型化・高信頼性を
実現する最先端技術で、
産業機器・通信インフラ、
IoT・ブロックチェーン市場
のニーズに対応

最先端のテクノロジーを持つ
半導体、電子デバイス、センサー等の
各種電子部品を豊富にラインアップ

高機能・低消費電力・小型化等、
多様な市場ニーズに応える

4-3. 産機プロダクト



快適な社会環境・生活環境を実現する

ムーブメント・ソリューション

付加価値の高いスライドレールを提供し、

金融端末市場（特にATM）では圧倒的シェアを誇る

本日お伝えしたいこと

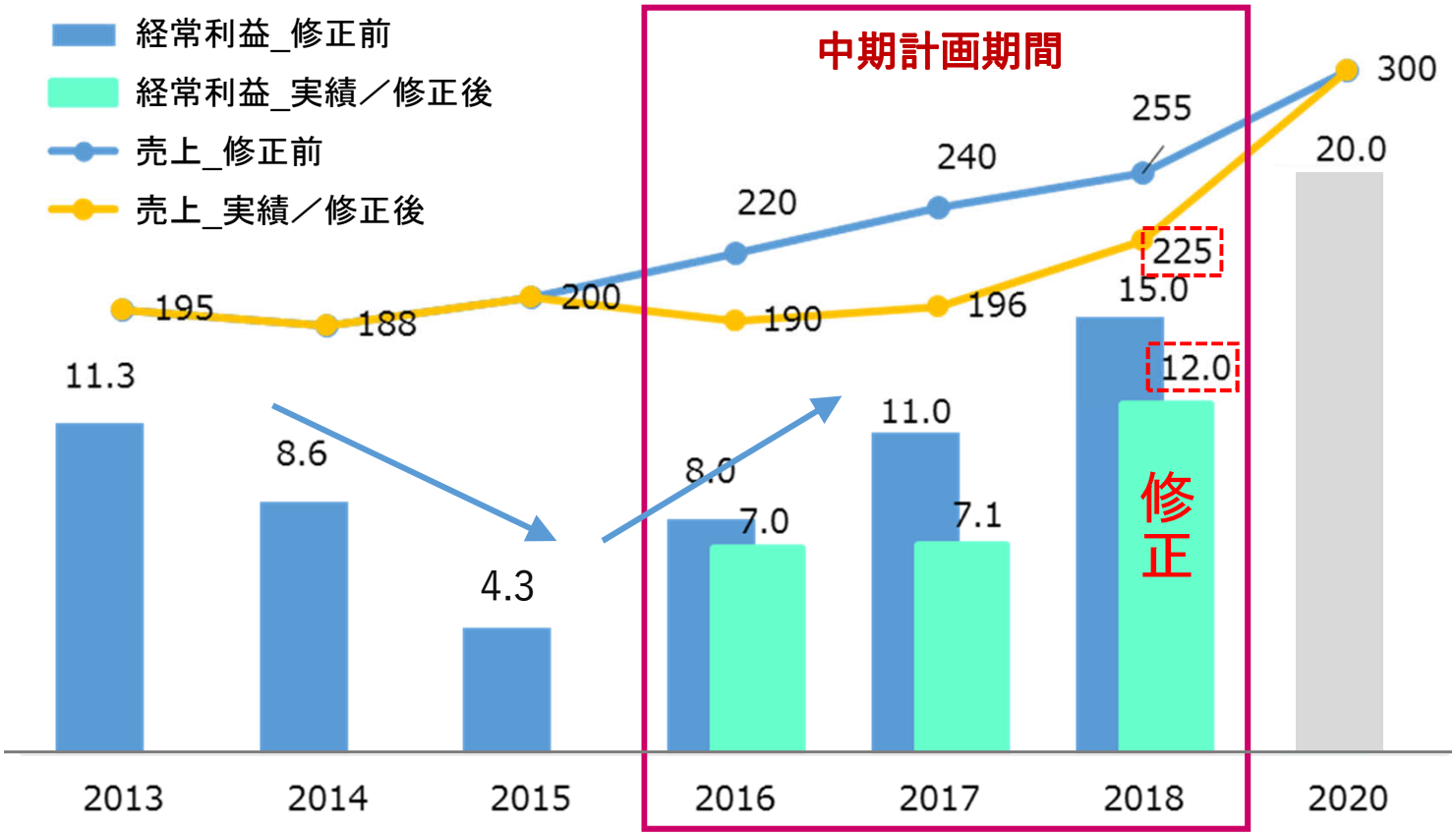
1. 会社概要
2. 事業の概要
3. システムセグメントについて
4. デバイスセグメントについて
5. **中期経営計画**
6. 財務状況
7. 株主還元方針

5-1. 中期経営方針と経営目標

独自ソリューションの展開とグローバル事業の拡大による利益成長の実現

（変更前）2018年度　売上目標　255億円、経常利益目標　15億円
（修正後）2018年度　売上目標　225億円、経常利益目標　12億円

経常利益20億円を目指し、当中期計画でV字回復を達成する



（単位：億円）

5-2. 事業ポートフォリオ 売上拡大シナリオ

中計発表時の成長額に対し
上回る
下回る

	既存商品	新商品
新規市場	投資分野 **グローバルビジネスの拡大** ● 産機事業の海外展開（中国・アメリカ） ● 東南アジア防火システム事業 ● リテールセキュリティの中国、東南アジア 海外販売拡大 +35億円 ⇒ **+17億円**	投資分野 **新規ビジネスの創出** ● RFIDシステム、特殊タグ ● ネット通販（新規） ● 新規事業（環境、クラウドサービス事業等） 新規事業推進 +13億円 ⇒ **+2億円**
既存市場	利益基盤の維持 +4億円 ⇒ **△5億円** ● 国内商品監視システム、タグ販売 ● 入退室システム、カメラ ● ネットワーク機器 ● インサーター、IJP ● 半導体・部品販売 ● 国内スライドレール、ダンパー他 **既存市場への既存商品の販売**	付加価値向上 +16億円 ⇒ **+9億円** 投資分野 ● リテールRFIDシステム ● 画像認識システム ● 複合リテールソリューション ● クラウド型無線LANシステム ● デバイスソリューション ● 産機プロダクト新商品 **付加価値による競争力強化**

※数字は2015年度比、連結調整前数字
※ 2018年4月に公表した売上高225億円の予想数値による進捗

本日お伝えしたいこと

1. 会社概要
2. 事業の概要
3. システムセグメントについて
4. デバイスセグメントについて
5. 中期経営計画
6. **財務状況**
7. 株主還元方針

6-1. 連結損益推移

（単位：百万円）

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
売上高	**18,149**	**19,581**	**18,809**	**19,986**	**19,037**	**19,570**
売上総利益	**5,205**	**5,360**	**4,935**	**4,973**	**4,813**	**4,793**
売上総利益率（%）	28.7	27.4	26.2	24.9	25.3	24.5
販売費及び一般管理費	**4,379**	**4,330**	**4,247**	**4,536**	**4,313**	**4,130**
販管費率（%）	24.1	22.1	22.6	22.7	22.7	21.1
うち のれん償却	216	254	264	434	346	192
営業利益	**826**	**1,030**	**688**	**436**	**500**	**663**
営業利益率（%）	4.6	5.3	3.7	2.2	2.6	3.4
経常利益	**1,007**	**1,133**	**865**	**410**	**700**	**706**
経常利益率（%）	5.6	5.8	4.6	2.1	3.7	3.6
親会社株主に帰属する当期純利益	**557**	**565**	**589**	**103**	**279**	**130**
当期純利益率（%）	3.1	2.9	3.1	0.5	1.5	0.8
EBITDA	**1,150**	**1,401**	**1,088**	**1,037**	**971**	**958**

↑ 2015/3月期 Guardfire Ltd. 及び Guardfire Singapore Pte. Ltd. を買収（PL連結:2015年から）

2012/3月期 Takachiho Fire,Security & Services(Thailand)Ltd. 及び マイティカードを買収（連結開始）

6-1. 連結損益推移【主な収益変動要因】

（単位：百万円）

①買収によるのれん償却の増加

- 2012/3期：Takachiho Fire,Security & Services(Thailand)Ltd.（以下TKTH）及びマイティカード（以下MC）を買収し、連結開始
- 2015/3期 ：Guardfire Ltd. 及び Guardfire Singapore Pte. Ltd.（以下2社あわせてGF）を買収し2015年度よりPLの連結を開始
- のれん償却負担が増加。償却額は2016/3期434百万円がピーク。

  (TKTHとMCの償却期間は5年で2017/3期に終了。GFの償却は2023/3期まで)
- GFは、原油価格低迷で石油プラント等の建設計画が遅延、将来の回収可能性を見直し、2018/3期にのれん残912百万円の内253百万円を減損

②為替の影響

- 輸入商社の為円安による仕入コスト上昇で、売上総利益率が低下。（2012年80円台→2015年120円台。この間売上総利益率が4%低下）
- 2016/3月期は、グループ会社への外貨建て親子ローンで為替差損が発生（現在は親子ローンを解消し、為替リスクを解消済）

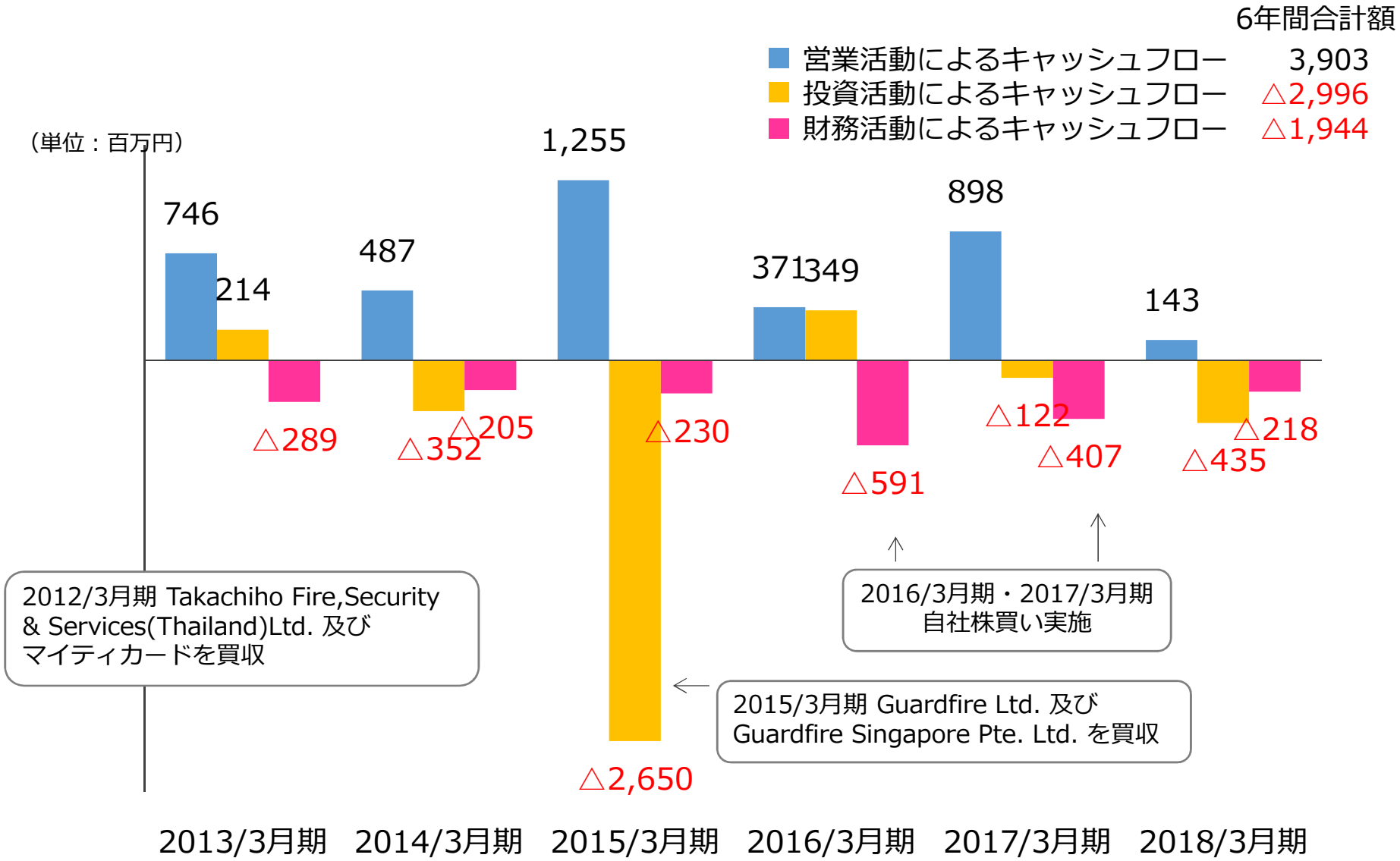
6-2. 主要経営指標推移

（単位：百万円）

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
流動資産	15,558	16,261	15,609	14,992	15,699	15,679
（内 現金及び預金）	7,207	7,212	5,637	5,758	6,163	6,169
固定資産	3,040	3,036	4,229	3,261	2,861	2,886
（内 のれん）	1,015	758	2,213	1,465	1,058	659
資産合計	**18,599**	**19,297**	**19,839**	**18,253**	**18,561**	**18,566**
流動負債 無借金経営継続中	3,891	4,199	4,245	3,693	4,034	3,887
固定負債	840	754	646	716	691	719
純資産	13,867	14,343	14,947	13,844	13,834	13,958
負債・純資産合計	**18,599**	**19,297**	**19,839**	**18,253**	**18,561**	**18,566**

ROE	4.1%	4.0%	4.0%	0.7%	2.0%	0.9%
ROA	3.0%	3.0%	3.0%	0.5%	1.5%	0.7%
自己資本比率	74.2%	73.9%	75.0%	75.8%	74.5%	75.1%

6-3. キャッシュフローの推移



本日お伝えしたいこと

1. 会社概要
2. 事業の概要
3. システムセグメントについて
4. デバイスセグメントについて
5. 中期経営計画
6. 財務状況
7. **株主還元方針**

7-1. 株主還元実績

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
年間配当金	24円	24円	24円	24円	24円	24円
配当性向	**42.2%**	**41.5%**	**39.9%**	**222.4%**	**80.9%**	**171.2%**
株主優待	3月末時点で単元株（100株）以上保有の株主様に一律におこめギフト券3kg分贈呈					

自社株買い	0百万円	0百万円	–	312百万円	179百万円	0百万円

2018年11月に自社株買い464百万円を実施

総還元性向	42.2%	41.6%	39.9%	524.9%	145.0%	171.3%

配当利回り※	**2.67%**	**2.24%**	**2.36%**	**2.64%**	**2.39%**	**1.79%**
配当利回り優待含む※	4.14%	3.47%	3.66%	4.09%	3.71%	2.77%
年度末終値	899円	1,072円	1,016円	909円	1,004円	1,342円

※各年度末終値にて算出

7-2. 株主還元方針

① 株主様への利益還元は経営の重要な課題と認識

② 安定的かつ継続的な配当を実施

③ 加えて将来の成長に向けた投資にも注力し、
内部留保を事業拡大に活用

	2019年3月期 見込
年間配当金	**24円**
配当性向	**28.0%**

質疑応答

高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

会社説明会

2019年 3月 2日

商品デモンストレーション
及び
検討中海外商品の紹介

デバイス

① FaceUP-Table（ディスプレイ内蔵型タッチテーブル）
⇒動画にて紹介

② Nanotec-Film

③ 無接点充電器（家具組込型置くだけ充電）

システム

① バーチャル・フィッティング・システム【検討中】

② 次世代の自動販売機『PickShop（ピックショップ）』

運用

手順１
お客様は、専用アプリを開き、SELLBOのQRコードを読み込む。

⇒電子ロックが解除され、扉が開きます。

手順２
お客様は扉を開き、欲しい商品を手に取ります。気に入らなければ棚に戻します。

手順３
購入したい商品が決まったら、扉を閉めます。

⇒扉を閉めると、自動的に決済が終了し、購入した商品が画面上に表示される。

ありがとうございました。

高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

【見通し等に関する注意事項】
当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、不確実な要素が含まれております。
したがって、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。